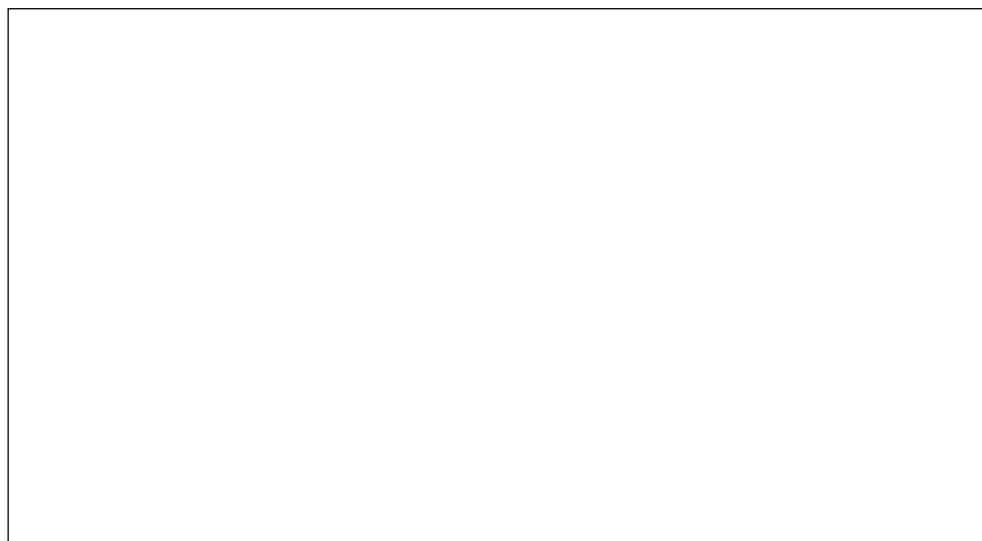


Panasonic

PCソフトウェアパッケージ 取扱説明書

品番 **WV-AS710**



このたびはPCソフトウェアパッケージをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後保存し、必要なときにお読みください。

■PCソフトウェアパッケージをインストールする前に、ソフトウェア使用許諾契約書をよくお読みになり、同意していただける場合のみCD-ROMパッケージを開封し、インストール作業を行ってください。

もくじ

操作編

はじめに	2
操作編(PCで操作する)	7
中継サーバーシステムにアクセスする	8
トップページの使いかた	9
運用ページの使いかた	10
カメラ選択メニュー	11
画像表示エリア	12
ライブモードパネル	13
中継サーバーシステムに録画した画像を再生する	15
検索メニュー	18
4画面表示	22
MPEG-4プラグインソフトウェアのインストール	23
MPEG-4プレーヤーのインストール	24
操作編(iモード対応携帯電話で操作する)	25

インストール編

インストール編	27
作業概要	28
Red Hat Linuxのインストール	30
録画データ用ディスク領域の確保	31
本ソフトウェアのインストール	33
中継サーバーシステムの起動	35
インストール後の作業概要	36
中継サーバーシステムソフトウェアの終了	37
アンインストール	38

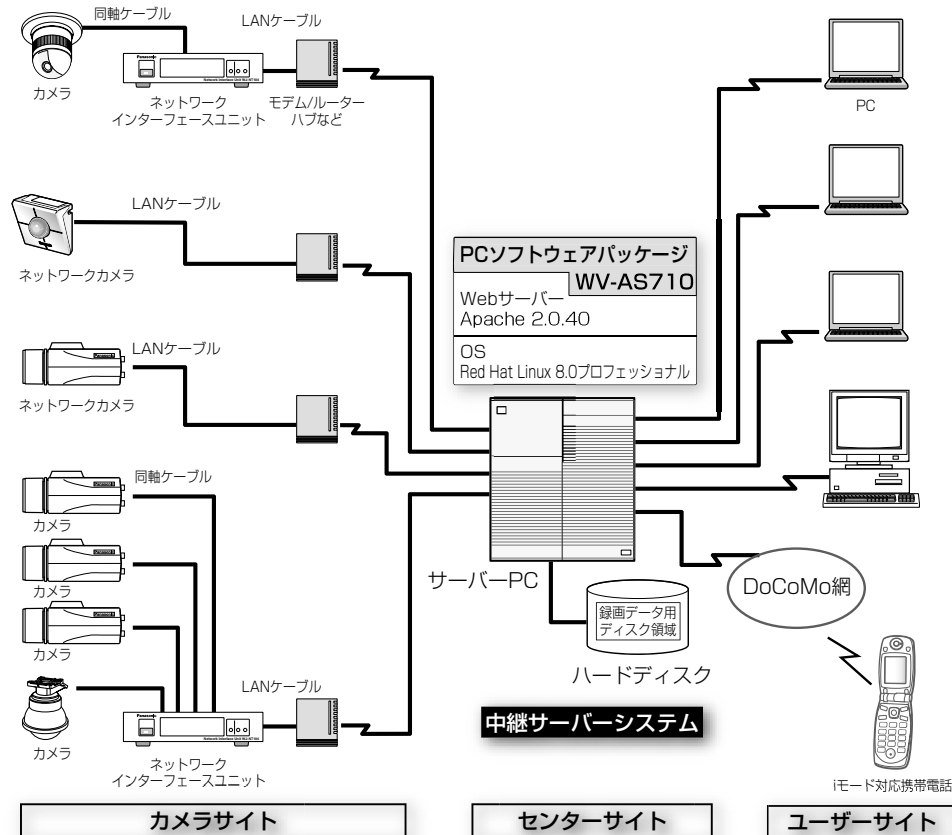
管理編

管理編	39
管理者用ページの表示方法	40
設定項目一覧	42
システムタイプ設定	44
カメラ設定	45
スケジュール	50
録画設定	53
認証設定	64
システム設定	71
故障かな!?	78

はじめに

商品概要

PCソフトウェアパッケージ(WV-AS710: 以下、本ソフトウェアと呼ぶ)は、遠隔地にあるカメラの画像をインターネット/イントラネットなどのIPネットワーク経由で、パーソナルコンピュータ(以下、PC)やiモード対応携帯電話に配信するためのソフトウェアです。本ソフトウェアは、Red Hat Linux 8.0プロフェッショナルを搭載したサーバーにインストールして使用します。本ソフトウェアをインストールしたサーバーを中継サーバーシステムと呼びます。ユーザーは、配信された画像をPCのWebブラウザや携帯電話のiモードで見ることができます。



カメラサイト

・従来のカメラ(NTSCコンポジット信号を出力するカメラ)を使用する場合

別途ネットワークインターフェースユニット(WJ-NT104)が必要です。カメラは、ネットワークインターフェースユニットに接続します。中継サーバーシステムは、ネットワークインターフェースユニットのIPアドレスとカメラチャンネルでカメラを識別し、カメラの画像を取得またはコントロールします。

・ネットワークカメラを使用する場合(イーサネット(10BASE-T/100 BASE-TX)で映像信号を出力するカメラ)

ネットワークカメラは、カメラ単体でネットワークに接続できます。ネットワークに接続するために必要なIPアドレスなどのアドレスはカメラに設定します。中継サーバーシステムは、ネットワークカメラに設定されているIPアドレスでカメラを識別し、カメラの画像を取得またはコントロールします。

ユーザーサイト(PC)

ユーザーはPCにインストールされているWebブラウザのアドレス欄に中継サーバーシステムのアドレスを入力すると、カメラの画像を見ることができます。Webブラウザに表示されるメニューでカメラを操作できるため、ユーザーは個々のカメラのアドレスを意識する必要がありません。

MPEG-4による画像配信に対応しているネットワークカメラをご使用の場合、中継サーバーシステムからMPEG-4プラグインソフトウェアをダウンロードし、お使いのPCにインストールすれば、MPEG-4形式の動画でカメラの画像を確認できます。また、中継サーバーシステムに録画されている画像をMPEG-4の動画としてお使いのPCにダウンロードして再生することもできます。ダウンロードしたファイルの再生には、MPEG-4プレーヤーが必要です。MPEG-4プレーヤーは、MPEG-4プラグインソフトウェアと同様に、中継サーバーシステムからダウンロードし、インストールすることができます。

ユーザーサイト(iモード対応携帯電話)

iモードまたはアプリ対応携帯電話をお使いの場合、専用のアドレスにアクセスすると、携帯電話でカメラの画像を見ることができます。iモード携帯電話に画像を配信するとき、中継サーバーシステムは携帯電話に適したサイズに画像を変換してから

はじめに

画像を配信します。

注1: iモード対応携帯電話で中継サーバーシステムにアクセスした場合、静止画(GIFまたはJPEG)で表示されます。[更新]を選択すると画像を更新できます。

注2: iモード対応携帯電話で、MPEG-4で配信されるカメラ画像を見ることはできません。

注3: iモードを使って中継サーバーシステムにアクセスし、カメラの操作や画像のダウンロードなどを行った場合、パケット通信料金がかかります。

機能概要

画像配信

中継サーバーシステムを導入すると、Webページ閲覧用のソフトウェアで、カメラの画像をJPEGまたはMPEG-4で見ることができます。また、複数のユーザーが同時に同じカメラの画像を見ることができます。各ユーザーが異なるカメラの画像を見ることがもできます。

録画

カメラから中継サーバーシステムに配信される画像をハードディスクに録画できます。

アラーム発生時の画像を中継サーバーシステムで録画する

カメラからのアラーム信号を中継サーバーシステムが受信したとき、サーバー上のハードディスクにアラーム発生時の画像を録画することができます。同時に、アラーム発生状況をPCまたはiモード対応携帯電話にメールで通知することができます。メールには、アラーム発生時の画像を見るためのアドレスが書かれています。

注: 中継サーバーシステムは、カメラの独自アラーム通知で使用しているプロトコル(独自プロトコル)で送信されたアラーム信号のみ受信することができます。

Webブラウザーによるサーバーの管理

中継サーバーシステムの管理(設定)は、インターネットに接続されたPCにインストールされているWebブラウザーで行うことができます(PCに、特別なソフトウェアをインストールする必要はありません)。

動作環境

センターサイト

中継サーバーシステムは以下のシステム環境を持つPCにインストールできます。

推奨CPU: Intel® Pentium® III 1.4GHz以上で動作するPC

メモリ: 512MB以上

LANカード: 100BASE-TX/1000BASE-T/TX/SX対応コントローラー
カメラ側および配信側に1基ずつ必須。さらに、メンテナンス用に1基インストールすることを推奨。

OS: Red Hat Linux 8.0プロフェッショナル

CD-ROMドライブ 本ソフトウェアのインストール時に必要

USBポート: ハードウェアキー取り付けのために必要(USBハブも使用可能)

ハードディスク: 2GB以上の空き容量が必要(録画データ用ディスク領域は含まず)

コア・コンポーネント: WebサーバーとしてApache HTTP Server 2.0.40が必要。
メール機能を使用する場合、メールサーバーが必要。

カメラサイト

中継サーバーシステムがアクセスできるカメラは以下のとおりです。

カメラ: WV-NM100, WV-NP472(Ver1.08以上), WV-NP400KT(Ver1.08以上)、WV-NS320, またはWJ-NT104(Ver1.21以上)に接続されたカメラ

操作できるカメラ: WV-NM100、WV-NS320、またはネットワークインターフェースユニット(WJ-NT104)からの制御信号で操作できるカメラ

カメラ最大数: 64台(録画する場合(システムタイプ1))
128台(ライブ画像のみ(システムタイプ2))

はじめに

ユーザーサイト

中継サーバーシステムにアクセスし、操作を行うためには以下の環境のPCが必要です。

・カメラ画像を静止画(JPEG画像)で見える場合

PC:	PC/AT互換機
CPU:	Intel® Pentium® III 以上で動作するPC
メモリ:	128MB以上
OS:	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Microsoft® Windows NT® 4.0 SP6a Microsoft® Windows® Millennium Edition Microsoft® Windows® 2000 Professional Microsoft® Windows® 2000 Server Microsoft® Windows® XP Home Edition Microsoft® Windows® XP Professional
Webブラウザ:	Microsoft® Internet Explorer (5.5 SP2または 6.0 SP1) Netscape Navigator 4.78のいずれかがインストールされていること。

注: Webブラウザの環境について、以下の注意事項をお守りください。

- ・中継サーバーシステムは、Cookieを使用します。インターネットオプションなどで、「Cookieをブロックする」、または「無効にする」に設定している場合は、「受け入れる」に設定を変更してください。「ダイアログを表示する」ように設定している場合は、プライバシーの警告画面で、「Cookieを許可」をクリックしてください。
- ・以下のOSで、Internet Explorer 6.0 SP1を使用する場合は、Sun Microsystems社のJava™ 2 Run Time Environment, Standard Edition 1.4.1が必要です。お使いのPCのコントロールパネルに、Java Plug-inコントロールパネルがインストールされているか確認してください。インストールされていない場合は、Sun Microsystems社のWebサイト(http://java.sun.com/products/plugin/index-1.4.1_ja.html)から入手できます。ただし、Webサイトのアドレスは変更になる可能性があります。
 - ・ Microsoft® Windows NT® 4.0 SP6a
 - ・ Microsoft® Windows® XP Home Edition

- ・ Microsoft® Windows® XP Professional

- ・ Netscape Navigator使用時は、以下のことに注意してください。

- ・ Microsoft® Windows® 2000またはMicrosoft® Windows® XPとの組み合わせでのみ使用できます。
- ・ 中継サーバーシステムに録画されている画像を再生したとき、録画日時は表示されません。

・カメラ画像を動画で見える場合(MPEG-4プラグインソフトウェアを使用する場合)

PC:	PC/AT互換機
推奨PC:	Intel® Pentium® III 以上で動作するPC
メモリ:	128MB以上
画面(解像度):	True color 24ビット以上(XGA(1024×768ピクセル)以上)
OS:	Microsoft® Windows® 2000 Professional, Microsoft® Windows® 2000 Server, Microsoft® Windows® Millennium Edition, Microsoft® Windows® XP Home Edition, Microsoft® Windows® XP Professional
Webブラウザ:	Microsoft® Internet Explorer (5.5 SP2または 6.0 SP1)

・MPEG-4プレーヤーを使用する場合

PC:	PC/AT互換機
推奨PC:	Intel® Pentium® III 以上で動作するPC
メモリ:	128MB以上
画面(解像度):	True color 24ビット以上(XGA(1024×768ピクセル)以上)
OS:	Microsoft® Windows® 2000 Professional, Microsoft® Windows® 2000 Server, Microsoft® Windows® Millennium Edition, Microsoft® Windows® XP Home Edition,

はじめに

Microsoft® Windows® XP Professional

ハードディスク: MPEG-4プレーヤーインストール時、10MB以上の空きが必要

- ・ iモード対応携帯電話を使用する場合
以下の携帯電話のご使用を推奨します。

FOMA: P2102V, P2101V, P2002

iモード: P504iS, P504i, P503iS, P503i, P251iS, P211i

- ・ ネットワーク環境について

インターネット経由で中継サーバーシステムにアクセスする場合:

回線状況またはお客様のLANの形態(ファイアウォールの有無など)によっては、中継サーバーシステムが配信するHTMLを正しく表示できない場合があります。

中継サーバーシステムが配信するHTMLにはJavaScript、CGIに対する命令が含まれています。これらの命令を無効にするよう設定されているPCは正しく表示できません。

注:

- ・ 回線状況が悪い場合

通信速度が遅い、通信回線が混雑しているなど通信状況が悪い場合、すべての画像を表示する前に更新されたり、ライブ画像/再生画像の代わりに、静止画像(映像取得失敗)が表示されたりすることがあります。このような現象が頻発する場合は、映像取得間隔を調整してください。

- ・ ファイアウォール(ソフトウェア含む)を導入している場合

以下のポートに対して、アクセスを許可してください。アクセスを拒否すると、本ソフトウェアにアクセスできない、または動画で画像を見ることができないなどの障害が発生します。

- ・ Apache HTTP Server用のポート(デフォルト: 80)に対するHTTPアクセス
- ・ 本ソフトウェア用のポート(デフォルト: 8080)に対するHTTPアクセス(本ソフトウェアが使用するポートは、インストール時に変更できます)
- ・ MPEG-4で画像を配信するカメラを接続する場合は、UDPの全ポート

付属品をご確認ください

CD-ROM	1
インストールガイド	1
ハードウェアキー	1

: CD-ROMには、PCソフトウェアパッケージのインストールプログラムと取扱説明書(本書)、Readme.txtファイルが納められています。インストールする前に、Readme.txtを必ずお読みください。

商標および登録商標について

- ・ 米国におけるLinuxの名称は、Linus Torvalds氏の登録商標です。
- ・ RED HATは米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Netscape、Netscape Navigator、Netscape ONE、NetscapeのNロゴおよび操舵輪のロゴは、米国およびその他の諸国のNetscape Communications Corporation社の登録商標です。(一部の国では、登録商標となっています。)
- ・ IntelおよびPentiumはアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。
- ・ IBMおよびxSeriesはアメリカ合衆国および他の国におけるIBM Corporationの登録商標または商標です。
- ・ JavaおよびJREはSun Microsystems社の商標です。
- ・ Adobe、Adobeロゴ、およびAcrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- ・ iモード、iアプリはNTTドコモの商標です。
- ・ その他の社名または商品名は各社の商標または登録商標です。
- ・ 本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

はじめに

本書の構成

本書は、一般ユーザー向けの操作編、サーバー管理者向けのインストール編と管理編に分かれています。なお、本書ではInternet Explorer 6.0 SP1で中継サーバーシステムを操作または管理する場合を例に説明しています。その他のWebブラウザをご使用の場合、ボタンの形や画面表示が異なる場合があります。同じWebブラウザを使用している場合でも、ご使用のOSやOSの設定によっても画面表示が異なる場合があります。

操作編

携帯電話やパソコンで中継サーバーシステムにアクセスする方法と、標準でインストールされるWebページを例に操作方法を説明しています。

インストール編

Red Hat Linux 8.0 プロフェッショナルに本ソフトウェアをインストールする方法を説明しています。

管理編

本ソフトウェアの設定方法を説明しています。

対象読者

操作編は、インターネットに関する知識とWebブラウザの操作方法を習得している人を対象に説明しています。

インストール編および管理者編は、Red Hat Linux 8.0 プロフェッショナルおよびApache HTTP Serverに関する知識がある方で、かつ基幹サーバーを構築した経験のある人を対象に説明しています。

用語について

本書で使用する用語について説明します。

中継サーバーシステム: 本ソフトウェアパッケージがインストールされているサーバーの

ことです。

ネットワークカメラ: WV-NM100、WV-NP472、WV-NP400KT、WV-NS320など、ネットワークに直接接続できるカメラの総称です。

録画データ用ディスク領域: 中継サーバーシステムにマウントされているハードディスクに確保されている、録画専用のディスク領域(/S3_DATAxxの名前のパーティションまたはディレクトリ)

ディスク領域: 録画するためには、録画データ用ディスク領域からどれくらいそのカメラの録画での録画を許可するかを割り当てる必要があります。カメラごとに割り当てた録画データ用ディスク領域の容量をディスク領域と呼びます。

PC: Microsoft Windows オペレーティングシステムが動作しているコンピューターをPCと呼びます。

Webブラウザ: インターネットのホームページを閲覧するためのソフトウェアをWebブラウザと呼びます。

管理者: 管理者グループに登録されているユーザーを管理者と呼びます。

ユーザー: 携帯電話やWebブラウザで中継サーバーシステムにアクセスし、画像を見たり、操作したりする人をユーザーと呼びます。

アラーム画像: アラームに連動して撮影された画像をアラーム画像と呼びます。

ボタンの表記について: 本書はWebページ上のボタンを[]で表記しています。

Red Hat Linux: Red Hat Linux 8.0 プロフェッショナルをRed Hat Linuxと呼びます。

Windows: Microsoft® Windows®オペレーティングシステムをWindowsと呼びます。

Windows 2000: Microsoft® Windows® 2000 ProfessionalまたはMicrosoft® Windows® 2000 ServerをWindows 2000と呼びます。

Windows XP: Microsoft® Windows® XP ProfessionalまたはMicrosoft® Windows® XP Home EditionをWindows XPと呼びます。

タイプ1: 本ソフトウェアをシステムタイプ1で使用する場合に、操作または設定できる項目です。

操作編(PCで操作する)

ここでは、PCで中継サーバーシステムにアクセスし、ライブ画像を見る、再生などの操作方法を説明します。

PCでご利用になる場合の注意

- 中継サーバーシステムへのアクセスはインターネット用のWebブラウザで行います。Webブラウザは各自でご用意願います。Webブラウザの起動および操作のしかたは、お使いになるWebブラウザの操作説明書またはヘルプをお読みください。
- 中継サーバーシステムは、Cookieを使用します。インターネットオプションなどで、「Cookieをブロックする」、または「無効にする」に設定している場合は、「受け入れる」に設定を変更してください。「ダイアログを表示する」ように設定している場合は、プライバシーの警告画面で、[Cookieを許可]をクリックしてください。
- MPEG-4で画像を見る場合は、MPEG-4プラグインソフトウェアが必要です。このプラグインは、Internet Explorer(5.5 SP2/6.0 SP1)専用です。
- PCにダウンロードしたMPEG-4の再生画像を見るためには、MPEG-4プレーヤーが必要です。
- MPEG-4プラグインソフトウェアおよびMPEG-4プレーヤーをダウンロードするにはライセンスが必要です。本ソフトウェアには、両方の合計で32ライセンス含まれています(どちらか1つをダウンロードするごとに1ライセンス消費します)。
- 同じPCのWebブラウザで、複数の画面を開いて中継サーバーシステムにアクセスすると、画像を正しく表示できないことがあります。
- 操作制限されたカメラは、操作が許可されているユーザーのみアクセスすることができます。アクセスに必要なユーザー名、パスワードはサーバー管理者にご確認願います。
- 本書は、本ソフトウェアと同時にインストールされる標準のHTMLを使用して説明していません。お客様がHTMLファイルをカスタマイズした場合、ページの構成および動作が異なる場合があります。

中継サーバーシステムにアクセスする

アクセス方法

中継サーバーシステムにアクセスするには、以下の手順で操作します。

1. お使いのPCにインストールされているWebブラウザを起動し、以下のいずれかのアドレスを入力します。

中継サーバーシステムのアドレスは、システム管理者またはネットワーク管理者にご確認ください。

- ・日本語で表示する:

[http://\(中継サーバーシステムのアドレス\)/s3/Japanese/](http://(中継サーバーシステムのアドレス)/s3/Japanese/)

- ・英語で表示する(日付書式: 月/日/年の順):

[http://\(中継サーバーシステムのアドレス\)/s3/American/](http://(中継サーバーシステムのアドレス)/s3/American/)

- ・英語で表示する(日付書式: 日/月/年の順):

[http://\(中継サーバーシステムのアドレス\)/s3/British/](http://(中継サーバーシステムのアドレス)/s3/British/)

正しいアドレスを入力すると、トップページが表示されます。

本書では、日本語の場合を例に説明します。

2. カメラの画像を見るときは、「運用ページ」の下にある[1]～[64]のボタンをクリックします。システムタイプ2(録画なし)の場合は、[1]～[128]まで選択できます。

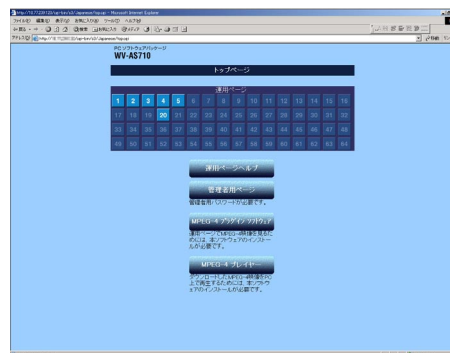
中継サーバーシステムにカメラが登録されている番号がハイライトで表示されます。ハイライトになっている番号をクリックすると、運用ページが表示されます。

認証画面が表示されたときは: 中継サーバーの設定が、「事前認証: あり」に設定されている場合、認証画面が表示されます。



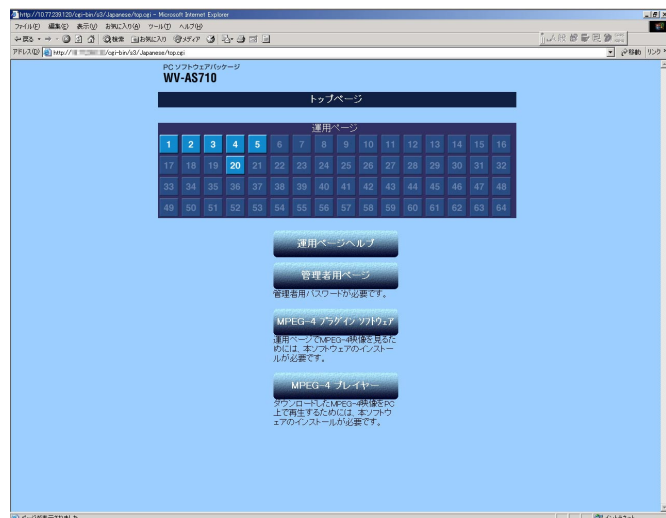
ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックしてください。認証されると、運用画面が表示されます。

事前認証について: 運用ページを初めて表示するとき、認証を行うことによって、以降の認証操作を省略することができます。ただし、権限のないカメラを選択、または権限のない操作を行った場合、認証画面が表示されます。



トップページの使いかた

ここでは、トップページの使いかた説明します。



・「運用ページ」 [1]～[64](システムタイプ1)/[1]～[128](システムタイプ2)

カメラ番号が表示されます。中継サーバーシステムに登録されている番号がハイライトで表示されます。クリックすると、運用ページが表示され、選択したカメラの画像を見ることができます(ボタンの数は、中継サーバーシステムのシステムタイプによって、以下のように異なります)。

システムタイプ1(録画あり): [1]～[64]

システムタイプ2(録画なし): [1]～[128]

注: 以下の場合、ハイライトで表示された番号をクリックしてもカメラのライブ画像は表示されません。

- ・中継サーバーシステムがカメラの画像の配信を休止しているとき(カメラ休止スケジュールでカメラ画像の配信を停止している)。
- ・中継サーバーシステムに設定されているカメラのIPアドレスが間違っている。
- ・カメラが接続されてない。
- ・カメラが故障している、またはケーブルが断線しているなどの原因で、カメラから中継サーバーにカメラの画像が配信されないとき。

・カメラが配信する画像フォーマットがMPEG-4の場合で、PCにMPEG-4プラグインソフトウェアがインストールされていないとき(トップページからMPEG-4プラグインソフトウェアをダウンロードし、インストールすれば見ることができます)。

・[運用ページヘルプ]

運用ページのヘルプを表示します。

・[管理者用ページ]

管理者が、中継サーバーシステムの管理を行うためのページを表示します。管理者用ページは、中継サーバーシステムの管理者のみ表示できます(管理者グループに登録されているユーザー名とパスワードが必要です)。詳しくは、「管理偏」をお読みください(→39ページ)。

・[MPEG-4プラグイン ソフトウェア]

MPEG-4プラグインソフトウェアのダウンロードページを表示します。

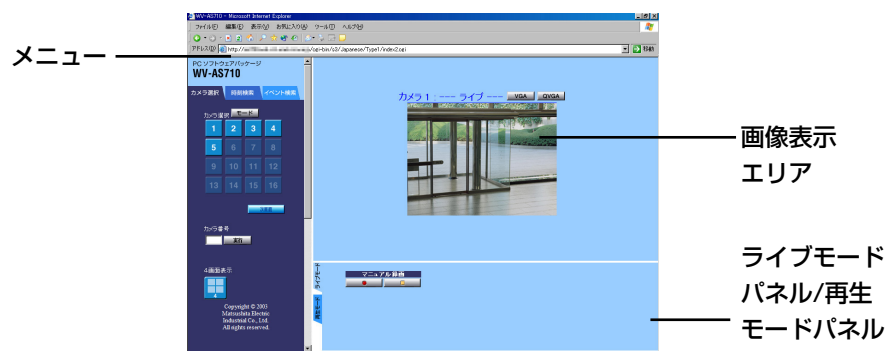
MPEG-4プラグインソフトウェアは、MPEG-4で画像を配信するカメラのライブ画像を、Webブラウザで見るために必要です。

・[MPEG-4プレーヤー]

MPEG-4プレーヤーのダウンロードページを表示します。MPEG-4プレーヤーは、中継サーバーシステムに録画されているMPEG-4画像をダウンロードして、再生するとき必要です。

運用ページの使いかた

ここでは、運用ページの使いかたを説明します。運用ページは、トップページからカメラの番号をクリックして表示します。



メニュー上部にあるタブをクリックして、操作メニューを切り替えます。

・カメラ選択タブ

カメラ選択メニューを表示します。

・時刻検索タブ

時刻検索メニューを表示します。中継サーバーシステムに録画されている画像を日時で検索して再生できます。

・イベント検索タブ

イベント検索メニューを表示します。検索条件を細かく設定して、中継サーバーシステムに録画されている画像を検索して再生できます。

・画像表示エリア

選択したカメラのライブ画像または再生画像を表示します。

注: 以下の場合、ハイライトで表示された番号をクリックしてもライブ画像は表示されません。

- ・中継サーバーシステムがカメラの画像の配信を休止しているとき(カメラ休止スケジュールでカメラ画像の配信を停止している)。
- ・中継サーバーシステムに設定されているIPアドレスが間違っている。
- ・設定されているIPアドレスに対応するカメラが接続されていない。

・カメラが故障している、またはケーブルが断線しているなどの原因で、カメラから中継サーバーにカメラの画像が配信されないとき。

・カメラが配信する画像フォーマットがMPEG-4の場合で、PCにMPEG-4プラグインソフトウェアがインストールされていないとき(トップページからMPEG-4プラグインソフトウェアをダウンロードし、インストールすれば見ることができます→23ページ)。

・ライブモードパネル/再生モードパネル

ライブ操作パネル: 表示しているカメラに対して、以下の操作を行うときに使います。カメラによっては、ボタンをクリックしても操作できない機能があります。

- ・画像の録画
- ・プリセット移動
- ・カメラのパン/チルト/ズーム/スキャン
- ・フォーカスや画像の明るさの調節

再生モードパネル: 中継サーバーシステムをシステムタイプ1(録画あり)で利用しているときに操作できます。中継サーバーシステムに録画されている画像の再生、スロー再生、一時停止などを操作できます。

注: 操作できる機能は、接続されているカメラとカメラが配信する画像フォーマットによって異なります。また、ライブモードパネルは、カメラのライブ画像を1画面で表示しているときにのみ操作できます(4画面表示にしているときは操作できません)。

カメラ選択メニュー

カメラ選択メニューは、カメラが現在撮影している画像をライブで確認するときに使用します。中継サーバーシステムの設定によっては、4台までのカメラの画像を同時に表示して確認することもできます。

表示のしかた

カメラ選択タブをクリックします。



・ [モード]

[モード]をクリックすると、カメラ選択ボタンをリスト表示に切り替えることができます。再度クリックすると、ボタン形式に戻ります。リスト形式になると、カメラタイトルを確認できます。

・ カメラ選択 [1]～[64](システムタイプ1)/[1]～[128](システムタイプ2)

見たいカメラの番号をクリックすると、カメラのライブ画像が画像表示エリアに表示されます。

・ 次画面/前画面

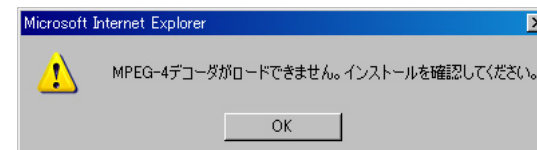
カメラ選択ボタンは16個ずつ表示されます。17番目以降のカメラを選択するときは、[次画面]をクリックします。[前画面]で戻ります。

リスト表示のときカメラ選択ボタンは、4個ずつ表示されます。[次画面]をクリックすると、4個ずつ進み、[前画面] をクリックすると、4個ずつ戻ります。

・ カメラ番号[実行]

カメラ番号を入力ボックスに入力後、[実行]ボタンをクリックすると、入力した番号のカメラの画像を画像表示エリアに表示できます。

注: MPEG-4で画像を配信するカメラ番号を選択したとき、以下のメッセージが表示されることがあります。



このメッセージは、MPEG-4画像をWebブラウザーで見るために必要なプラグインがPCにインストールされていないときに表示されます。「MPEG-4プラグインソフトウェアのインストール」を参照し、MPEG-4プラグインソフトウェアをお使いになるPCにインストールしてください(→23ページ)。

・ [4画面表示]

画像表示エリアに、4台までのカメラの画像を同時に表示できます。4画面表示している間、ライブモードパネルは表示されません。

注: [4画面表示]は管理者用ページのシステム設定で「4画面表示あり」に設定したときのみ表示されます。

画像表示エリア

ライブモード時は、選択したカメラのライブ画像を1画面または4画面で表示します。再生モード時は、中継サーバーシステムに録画されている録画画像が1画面で表示されます。

1画面の場合(ライブまたは再生モード) 4画面の場合(ライブモードのみ)



・[VGA][QVGA]/[CIF][QCIF]

画像表示エリアに表示する画像のサイズを選択します。

JPEGの場合: VGAまたはQVGAから選択できます。

MPEG-4の場合: CIFまたはQCIFから選択できます。

・カメラ n(カメラ番号)

1画面で表示しているとき、表示しているカメラの番号が表示されます。

・TITLE: カメラの名前

4画面で表示しているとき、各画像の左上にカメラの名前が表示されます。名前をクリックすると1画面で表示できます。

注: 名前は、管理者が管理者用ページで設定します。設定されていない場合、カメラタイトルは表示されません。

・ライブ/再生 **タイプ1**

ライブ画像を1画面で表示しているとき、「ライブ」が表示されます。再生画像を1画面で表示しているとき、「再生」が表示されます。4画面のとき、これ

らの情報は表示しません。

・[前画面]/[次画面]

4画面で表示しているとき表示されます。[次画面]をクリックして表示するカメラを4台ずつ切り替えることができます。[前画面]で戻ります。

画像を取得できなかったとき:

中継サーバーシステムが選択したカメラの画像を取得できなかった場合、以下の画像が画像表示エリアに表示されます。



中継サーバーシステムがカメラからの画像を取得できなかった場合、設定されているメールアドレスにメールを送信して知らせることができます。画像を取得できるまで、中継サーバーシステムは定期的にリトライします。ただし、リトライに失敗してもメールは送信されません。

・「開始」「終了」[ダウンロード] **タイプ1**

検索結果をクリックすると、「開始」ボックスに、再生開始時刻が表示されます。「終了」ボックスには、開始時刻から30分後の時刻が表示されます。直接「開始」、「終了」ボックスに時刻を入力して中継サーバーシステムからダウンロードする範囲を変更できます。



[ダウンロード]をクリックすると、開始時刻から終了時刻の画像(最大30分)をPCにダウンロードできます。

注: ダウンロードする画像フォーマットなどによって異なりますが、30分の画像をダウンロードする場合、ダウンロードするPCのハードディスクに約100MByte以上の空きが必要となります。

ライブモードパネル

ライブモードパネルは、カメラを操作するためのパネルです(4画面表示のときは表示されません)。ライブモードパネルの構成は、接続しているカメラによって異なります。

表示のしかた

ライブモードパネルは、次のいずれかの操作を行って表示します。

- カメラ選択メニューからカメラ番号を選択する。
- ライブモードパネルまたは再生操作パネルの左にあるライブモードタブをクリックする。

ユーザー認証ダイアログについて: 「モニター」権限のユーザーで認証した場合、ライブモードパネルのボタンをクリックすると、ユーザー認証ダイアログが表示されます。オペレーターまたは管理者として再認証してください。

注: 操作制限されているカメラに対して、許可されていない操作を行うと、ユーザー認証画面が表示されます。この場合、操作をキャンセルするか、または操作を許可されているユーザー名とパスワードで再度認証を行ってください。

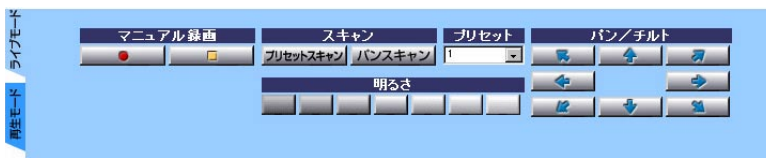
排他制御について: 中継サーバーシステムが排他制御を行っている場合、他のユーザーが操作しているカメラを操作することはできません(ライブ画像を見ることはできます)。

WJ-NT104に接続されているカメラ、WV-NS320を選択した場合

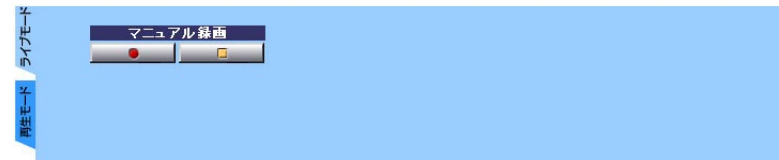


注: 操作できるボタンは、WJ-NT104に接続されているカメラの機能に依存します。

WV-NM100を選択した場合



WV-NP472、WV-NP400KTを選択した場合



マニュアル録画 タイプ1

表示されているカメラの画像をサーバー上のハードディスクに録画できます。

[録画]: JPEGの場合、1 fps(録画間隔)で録画を行います。MPEG-4の場合は、カメラが配信するレートで録画を行います。**[録画停止]**をクリックするまで録画し続けます。なお、マニュアル録画の優先度は4で、録画データ用ディスク領域の保護領域にカメラ画像を録画します。

注: 録画画像がJPEGの場合、録画の状況によって以下のように録画間隔が替わります。

- マニュアル録画より優先度の高い録画(アラーム録画(優先度3)または優先度3以上で保護領域に録画するスケジュール録画)を行っている間、優先度が高い録画間隔で録画されません。
- 優先度4で保護領域に録画するスケジュール録画が設定されている場合、後で開始された録画の録画間隔で録画されます。
- 中継サーバーシステムの映像取得間隔によっては、上記と異なる録画間隔で録画されることがあります(→61ページ)。

[録画停止]: 録画を停止します。

注: 以下の場合、マニュアル録画は停止します。録画中に、Webブラウザを終了またはウィンドウを閉じて、録画を停止することはできません。

- マニュアル録画で録画しているカメラに対し、他のユーザーが**[録画停止]**ボタンをクリックしたとき
- 管理者が中継サーバーシステムを停止、または再起動したとき(再起動後、自動的に再開しません)

ズーム

[望遠]または[広角]で、ズームレンズを操作します。

注: [望遠]または[広角]を押し続けて、連続してズームを操作することはできません。

ライブモードパネル

・プリセット

選択した番号のプリセット位置にカメラを旋回します。プリセットポジション番号、またはHome(ホームポジション)を選択できます。選択できるプリセットポジション番号は、以下のようにカメラごとに異なります。

WJ-NT104: 1~64(WJ-NT104に当社製コンビネーションカメラが接続されている場合で、コンビネーションカメラを選択した場合のみ操作可能)

WV-NM100: 1~8

WV-NS320: 1~16

注: プリセット機能は、カメラの機能です。プリセットポジションが設定されていないと操作できません。

・パン/チルト

クリックした矢印の方向に、カメラを1ステップ旋回します。移動量、移動速度はカメラによって異なります。

カメラから配信される画像がJPEGの場合: 画像表示エリアに表示されているライブ画像の上辺、下辺、右辺、左辺をクリックしてパン/チルトすることもできます(MPEG-4の場合、画像をクリックしてパン/チルトすることはできません)。移動量は、ページの中央からの距離に応じて変わります。ページの端付近をクリックすると大きく動きます。ページ中央付近をクリックした場合、カメラは動きません。

注: ボタンや画像を押し続けて、連続してパン/チルトを行うことはできません。また、WJ-NT104に接続されたコンビネーションカメラ、WV-NM100(配信する画像がJPEGの場合)、またはWV-NS320を選択した場合のみ操作できます。

・オートパン

[開始]: カメラに設定されているオート機能を実行します。オート機能には、AUTO PAN、SEQ、SORT、PATROLなどがあります。このボタンで操作できる機能はカメラの設定によって異なります。詳しくは、カメラの取扱説明書をお読みください。

[終了]: オート機能を終了します。他のボタンを押しても終了します([録画]および[録画停止]は除く)。

注: オートパン機能は、カメラの機能です。カメラにオート機能が設定されていない場合、

操作できません。

・スキャン

パンスキャン: カメラを左右に1回ずつ旋回して止まります。

プリセットスキャン: プリセット番号1~8の順番にカメラを旋回し、停止します。

・フォーカス

カメラのフォーカスを調節します。

[近]: 近くの被写体にフォーカスを合わせます。

[遠]: 遠くの被写体にフォーカスを合わせます。

[オート]: 表示中の画像中央の被写体にフォーカスを合わせます。

注: [近]または[遠]を押し続けて、連続してフォーカスを調節することはできません。

・アイリス

カメラのアイリス(絞り)を調節します。一般的に背景をくっきりと撮影する、または明るい場所を撮影するときはアイリスを閉じます。

[開]: アイリスが開き、被写界深度が浅くなります。

[閉]: アイリスが閉じ、被写界深度が深くなります。

[リセット]: アイリスの状態を初期状態に戻します。

注: [開]または[閉]を押し続けて、連続してアイリスを調節することはできません。

・明るさ

画像の明るさを調節します。左に行くほど画像が暗くなり、右に行くほど明るくなります。

・再生モードタブ

再生操作パネルに切り替えます。

中継サーバーシステムに録画した画像を再生する

タイプ1

再生のしかた

中継サーバーシステムのシステムタイプをタイプ1に設定して使用している場合、中継サーバーシステムのディスク領域には、以下の画像が録画されています。

- ・ライブモードパネルの[録画]で録画した画像
- ・カメラサイトからのアラームにより録画した画像(管理者の設定による)
- ・録画スケジュールで設定した時間に録画した画像(管理者の設定による)

中継サーバーシステムに録画されている画像を再生するときは以下の手順で操作します。

1 時刻検索タブまたはイベント検索タブをクリックする。

時刻検索タブ: 時刻検索メニューが表示されます。日時、カメラ番号を指定して中継サーバーシステムに録画されている画像を検索できます。

イベント検索タブ: イベント検索メニューが表示されます。時刻検索メニューより条件を詳しく指定して録画されている画像を検索できます。

2 検索条件を入力し、[検索]をクリックする。

メニューエリアに検索結果が表示されます(時刻検索メニューまたはイベント検索メニューは検索結果に切り替わります)。検索し直すとき、または検索を終了するときは「条件入力に戻る」をクリックします。

3 検索結果から再生したい日時をクリックする。

再生が始まります。再生操作パネルで再生・逆再生などの操作ができます。



選択した日時の画像を最後まで再生するとSTOP画像が表示されます。

時刻検索またはイベント検索を行わずに、再生モードパネルで [再生] をクリックすると、録画レコードの最終数フレーム再生後、録画端点に到達し、下図の画像が表示される場合があります。



再生について: 再生は、中継サーバーシステムの設定がシステムタイプ1(録画あり)の場合にのみ行うことができます。設定によって録画するカメラの画像は異なります。「モニター」権限のユーザーが操作すると、認証画面が表示されます。オペレーターまたは管理者で認証するか、[キャンセル]をクリックして操作を中止してください。

中継サーバーシステムに録画した画像を再生する タイプ1

再生画像をダウンロードする

ダウンロード開始時刻と終了時刻を指定して、PCにダウンロードすることができます。

1. 再生を行い、ダウンロードする日時を確認する。
2. 「開始」ボックスに開始時刻を「終了」ボックスに終了時刻を入力する。
ダウンロードできる時間は、最大30分です。再生開始時、「開始」ボックスに録画開始時刻が、「終了」ボックスに開始時刻から30分後の時刻が表示されています。
3. [ダウンロード]をクリックする。
画面の指示に従って操作してください。ダウンロードする画像を中継サーバーシステムが準備するのに数分かかることがあります。そのままお待ちください。

ダウンロードが完了すると、1つの自己解凍型実行ファイル(拡張子exe)として保存されます。

カメラが配信する画像がJPEGの場合、JPEGファイルと再生用HTMLファイルが自己解凍形式のファイルとしてダウンロードされます。

カメラが配信する画像がMPEG-4の場合、MPEG-4ファイル(拡張子.mg4)と索引ファイル(拡張子.idx)が1つの自己解凍形式のファイルとしてダウンロードされます。

ダウンロードした画像を再生する

ここでは、ダウンロードした画像の再生方法について説明します。

JPEGの場合

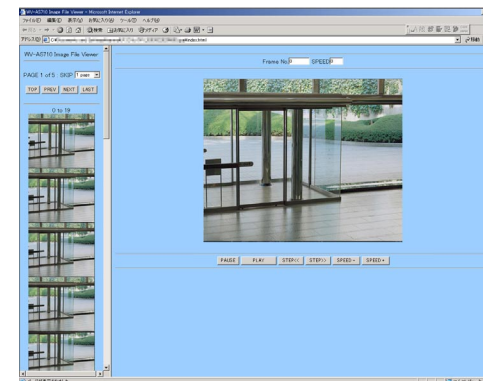
ダウンロードした画像を確認するときは、以下の手順で操作してください。

1. ダウンロードした実行ファイルを任意のフォルダーに移動し、ダブルクリックする。
実行ファイルは自己解凍形式の圧縮ファイルです。実行ファイルをダブルク

リックすると、実行ファイルを移動したフォルダーに画像ファイル(拡張子jpg)を格納したフォルダーと画像表示用HTMLファイル(index.html、play.html、thumb.html)が作成されます。画像ファイルの数は、ダウンロード時間、カメラの画像取得間隔、および録画間隔によって異なります。

注 解凍された画像ファイルは、画像表示用HTML(index.html)で確認してください。カメラが配信する画像サイズが640×240ピクセルの場合、ペイントなどの画像ソフトでは縦方向が1/2に縮小されて表示されます。

2. index.htmlをウェブブラウザで表示する。
以下のようなWebページが表示されます。



SKIP: サムネイル画像の改ページ数を選択します。

TOP: 先頭ページに戻ります。

PREV: 前のページに改ページします。改ページ数は、SKIPで選択したページ数に依存します。

NEXT: 次のページを改ページします。改ページ数は、SKIPで選択したページ数に依存します。

LAST: 最終ページを表示します。

Frame No.: 表示している画像のフレームの番号です。

SPEED: 再生速度を表示します。逆再生の場合、マイナス(-)表示になります。

中継サーバーシステムに録画した画像を再生する タイプ1

STEP<<: 1フレーム戻り、停止します。

PLAY: 再生を開始します。

STEP>>: 1フレーム進み、停止します。

SPEED -: クリックするたびに再生速度(SPEED)を-1します。

PAUSE: 一時停止します。

SPEED +: クリックするたびに再生速度(SPEED)を+1します。

MPEG-4の場合

MPEG-4で録画された画像をダウンロードし再生するには、あらかじめMPEG-4プレーヤーをPCにインストールする必要があります。

注: MPEG-4プレーヤーはトップページからダウンロードすることができます。詳しくは、「MPEG-4プレーヤーのインストール」をお読みください(→24ページ)。

1. ダウンロードした実行ファイルを任意のフォルダーに移動し、ダブルクリックする。

実行ファイルは自己解凍形式の圧縮ファイルです。実行ファイルをダブルクリックすると、実行ファイルを移動したフォルダーに画像ファイル(拡張子mg4)と、時刻情報などを記した索引ファイル(拡張子idx)が作成されます。

注: 画像ファイルと索引ファイルは同じディレクトリに置いてください。異なるディレクトリにあたり、索引ファイルを削除したりすると、再生できませんので注意してください。

2. インストールしたMPEG-4プレーヤーを起動する。

MPEG-4プレーヤーをインストールすると、スタートメニューに登録されます。スタートメニューから起動してください。

Windows XP以外: 「プログラム」 - 「WV-AS710 MPEG-4プレーヤー」 - 「WV-AS710 MPEG-4プレーヤー」

Windows XP: 「すべてのプログラム」 - 「WV-AS710 MPEG-4プレーヤー」 - 「WV-AS710 MPEG-4プレーヤー」

3. ファイルメニューから「開く」を選択し、解凍した画像ファイル(拡張子

mg4)を選択して開く。



スライダー

・ファイルメニュー

開く: 再生するファイルを選択します。

終了: MPEG-4プレーヤーを終了します。

・ヘルプメニュー

バージョン: バージョン情報を表示します。

・スライダー

マウスでスライダーをドラッグし、再生位置の移動ができます。

・一時停止

再生を一時停止します。再度クリックすると、再生を再開します。

・再生

再生を開始します。

・停止

再生を停止します。

検索メニュー

時刻検索メニュー

時刻検索メニューで、日時・カメラ番号を指定して中継サーバーシステムに録画されている画像を検索できます。

表示のしかた

時刻検索タブをクリックします。

注: 操作制限されているカメラに対して、許可されていない操作を行うと、ユーザー認証画面が表示されます。この場合、操作をキャンセルするか、または操作を許可されているユーザー名とパスワードで再度認証を行ってください。

PCソフトウェアパッケージ
WV-AS710

カメラ選択 時刻検索 イベント検索

カメラ番号及び
日付と時刻を
指定して下さい。

カメラ番号
1

2003 年

2 月 26 日

21 時 32 分

縮小画像付き

検索

Copyright © 2003
Matsushita Electric
Industrial Co., Ltd.
All rights reserved.

・カメラ番号

検索対象となるカメラ番号を入力します。

複数のカメラの録画画像を同時に検索したいときは、コンマ(,)で区切って入力します。

すべてのカメラを検索対象にするときは、アスタリスク(*)を入力します。

注: 録画データ用ディスク領域が割り当てられていないカメラの番号を入力したり、操作権限のないカメラの番号を入力したりするとエラーメッセージが表示されます。

・年

検索する年を入力します。省略するとエラーメッセージが表示されます。

・月、日

月、日をそれぞれ選択します。

・時、分

時、分をそれぞれ選択します。

・縮小画像付き

チェックすると検索結果と一緒に縮小画像(サムネイル)を表示します。ただし、MPEG-4の録画画像の検索結果に、縮小画像は表示されません。

・検索

検索を開始します。

[検索]をクリックすると、入力した日時に最も近い検索結果が、基本操作パネルに検索結果が表示されます。

表示された検索結果をクリックすると、検索結果の位置から再生が開始されます。

注:

- ・サーバーPCの時計とPCの時計が一致していない場合、正しく検索できないことがあります。
- ・再生画像が、MPEG-4で録画されている場合、以下のメッセージが表示されることがあります。

テキスト表示

「時刻検索」の結果
カメラ番号: 1
2003/02/26 21:36

検索結果: 1件

カメラ: 1
2003/02/26 21:41:26

クリックで再生します。

条件入力に戻る

縮小画像付き

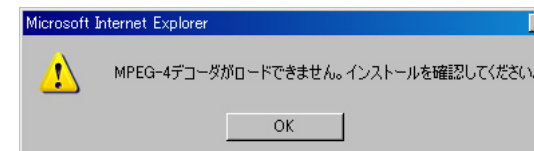
「時刻検索」の結果
カメラ番号: 1
2003/03/20 17:05

検索結果: 1件

カメラ: 1
2003/03/20 17:04:59

クリックで再生します。

条件入力に戻る



このメッセージは、MPEG-4画像をWebブラウザで見るために必要なプラグインがPCにインストールされていないときに表示されます。「MPEG-4プラグインソフトウェアのインストール」を参照し、お使いになるPCにMPEG-4プラグインソフトウェアをインストールしてください(→23ページ)。

検索メニュー

イベント検索メニュー

イベント検索メニューで、日時・カメラ番号、検索するイベントを指定して中継サーバーシステムに録画されている画像を検索できます。

表示のしかた

イベント検索タブをクリックします。

注: 操作制限されているカメラに対して、許可されていない操作を行うと、ユーザー認証画面が表示されます。この場合、操作をキャンセルするか、または操作を許可されているユーザー名とパスワードで再度認証を行ってください。

PCソフトウェアパッケージ
WV-AS710

カメラ選択 時刻検索 イベント検索

指定された条件に近いイベントを10件表示します。カメラ番号と日付時刻を指定して下さい。

カメラ番号
1

2003 年
2 月 26 日
21 時 39 分
以前

接点アラーム
 VMDアラーム
 手動録画
 画像取得ロス

画像がないイベントも表示
 縮小画像付き

検索

・カメラ番号

検索対象となるカメラ番号を入力します。

複数のカメラの録画画像を同時に検索したいときは、コンマ(,)で区切って入力します。

すべてのカメラを検索対象にするときは、アスタリスク(*)を入力します。

注: 録画データ用ディスク領域が割り当てられていないカメラの番号を入力したり、操作権限のないカメラの番号を入力したりするとエラーメッセージが表示されます。

・年

検索する年を入力します。省略するとエラーメッセージが表示されます。

・月、日

月日をそれぞれ選択します。

・時、分

時、分をそれぞれ選択します。

・接点アラーム

カメラサイトのアラーム入力に入力されたアラームをトリガーとして録画した画像を検索対象にするときチェックします。

・VMDアラーム

カメラのVMD機能(動き検出機能)をトリガーとして録画した画像を検索対象にするときチェックします。

・手動録画

ライブモードパネルの[録画]で録画した画像を検索対象にするときチェックします。

・画像取得ロス

カメラの映像ケーブルの断線、またはネットワークケーブルの断線、ネットワークの異常、カメラの故障などによりカメラから画像が送信されてこなかったときの日時情報を検索対象とします。

・画像がないイベントも表示

チェックすると、画像取得ロスなどの録画しないイベントや中継サーバーシステムから画像データが削除されたものも検索対象とします。

・縮小画像付き

チェックすると検索結果と一緒に縮小画像(サムネイル)を表示します。ただし、MPEG-4の録画画像の検索結果に、縮小画像は表示されません。

・検索

検索を開始します。

[検索]をクリックすると、イベント検索タブに検索結果が表示されます(最大10件まで表示)。

表示された検索結果をクリックすると、検索結果の位置から再生が開始されません。ただし、画像取得ロス、および録画

テキスト表示

「イベント検索」の結果
カメラ番号: 1
2003/02/26 21:45

検索結果:3件

カメラ:1
2003/02/26 21:41:41
手動録画

カメラ:1
2003/02/26 21:41:27
手動録画

カメラ:1
2003/02/26 16:40:32
手動録画

クリックで再生します。

最新のイベントを検索

条件入力に戻る

縮小画像付き

「イベント検索」の結果
カメラ番号: 1
2003/02/26 21:44

検索結果:3件

カメラ:1
2003/02/26 21:41:41
手動録画

カメラ:1
2003/02/26 21:41:27
手動録画

カメラ:1
2003/02/26 16:40:32
手動録画

クリックで再生します。

最新のイベントを検索

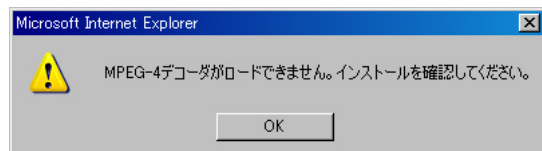
条件入力に戻る

検索メニュー

画像が削除された検索結果は除きます(録画画像がないため再生できません)。

注:

- ・サーバーPCの時計とPCの時計が一致していない場合、正しく検索できないことがあります。
- ・再生画像が、MPEG-4で録画されている場合、以下のメッセージが表示されることがあります。



このメッセージは、MPEG-4画像をWebブラウザで見るために必要なプラグインがPCにインストールされていないときに表示されます。「MPEG-4プラグインソフトウェアのインストール」を参照し、MPEG-4プラグインソフトウェアをお使いになるPCにインストールしてください(→23ページ)。

再生操作パネルについて

再生操作パネルで再生、スロー再生、一時停止などの操作を行うことができます。

表示のしかた

再生操作パネルは、時刻検索またはイベント検索の検索結果ページから、再生したい画像を選択してクリックすると表示されます。または、ライブモードパネルの左にある再生モードタブをクリックして表示します。

注: 操作が許可されていないユーザーの場合、ユーザー認証画面が表示されます。この場合、操作をキャンセルするか、または操作を許可されているユーザー名とパスワードで再度認証を行ってください。

【再生操作パネル: JPEG】



【再生操作パネル: MPEG-4】



・[最新へ]・[先頭へ]

中継サーバーシステムに録画されているすべての画像から最も新しい画像データ(最新へ)、または最も古い画像データ(先頭へ)を検索して再生します。

・[高速再生]・[高速逆再生](JPEGのみ)

画像をスキップしながら高速に、再生・逆再生を行います。

・[スロー再生]・[逆スロー再生](逆スロー再生はJPEGのみ)

再生速度を落として再生・逆再生を行います。

検索メニュー

・[再生]・[逆再生](逆再生はJPEGのみ)

録画したときと同じレートで再生(逆再生)を行います(例: 30秒分の画像データは30秒かけて再生します)。

注: ネットワークの状態によっては画像を読み飛ばして再生するため、録画されているすべての画像を表示できないことがあります。

・[全コマ再生]・[逆全コマ再生](JPEGのみ)

録画したすべての画像データを連続的に表示します。約0.2秒間隔で画像を更新して再生します。再生と違い、実時間との関連はありません。

ネットワークの状況によっては、更新間隔は長くなる場合があります。

・[コマ送り]・[逆コマ送り](JPEGのみ)

一時停止状態から直後の画像(逆コマ送りの場合は直前の画像)を表示し、一時停止します。一時停止中にのみ操作できます。

・[一時停止]

再生操作中にクリックすると一時停止します。一時停止後、再度クリックすると、一時停止を解除し、以前の動作を再開します。例えば高速逆再生から一時停止した場合、一時停止を解除すると、高速逆再生となります。

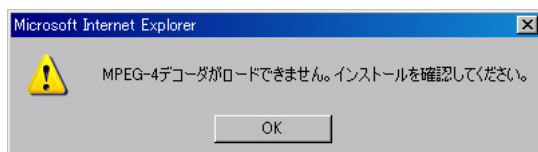
・[前へ](MPEG-4のみ)

約3秒前に戻って一時停止します。一時停止中にのみ操作できます。

・ライブモードタブ

再生操作パネルをライブモードパネルに切り替えます。

注: 再生画像が、MPEG-4で録画されている場合、以下のメッセージが表示されることがあります。



このメッセージは、MPEG-4画像をWebブラウザで見るために必要なプラグインがPC

にインストールされていないときに表示されます。「MPEG-4プラグインソフトウェアのインストール」を参照し、MPEG-4プラグインソフトウェアをお使いになるPCにインストールしてください(→23ページ)。

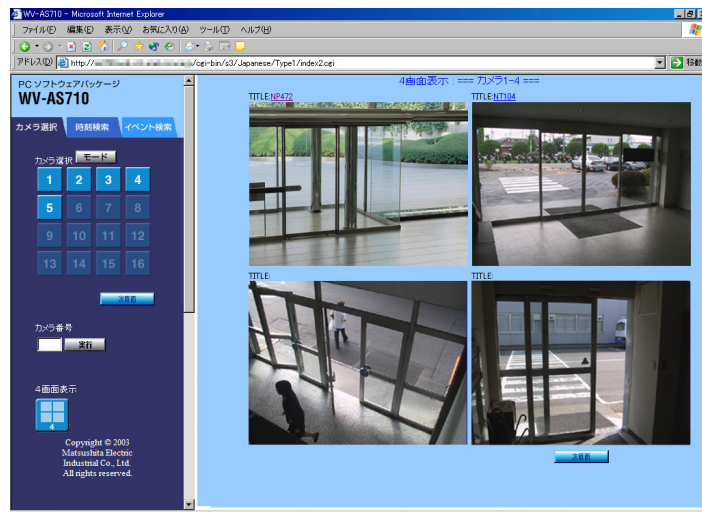
4画面表示

基本操作パネルの[4画面表示]をクリックすると、画像表示エリアに4台までのカメラの画像を同時に表示できます。4画面表示にしている間、ライブモードパネルが表示されないため、マニュアル録画およびカメラの操作はできません。

注

- 4画面表示を行うには、管理者用ページのシステム設定で「4画面表示ボタン(あり)」に設定されている必要があります
- 4画面表示を行うと、カメラ4台に対して同時にアクセスを行うため、中継サーバーシステムは4人のユーザーが同時にアクセスしていると認識します。

4画面表示例



• TITLE

TITLE欄に表示されている名前をクリックすると、そのカメラの画像を1画面で表示できます。

• [次画面]/[前画面]

[次画面]をクリックすると(1~4)→(5~8)→…のように、4画面ずつ表示するカメラを順番に切り換えることができます。[前画面]で戻ります。

注 カメラが接続されていない番号は、ブルー画像またはリンク切れを示すアイコンが表示されます。

MPEG-4プラグインソフトウェアのインストール

MPEG-4で配信するカメラのライブ画像または再生画像を見るためには、使用するPCにMPEG-4プラグインソフトウェアがインストールされている必要があります。

注: MPEG-4プラグインソフトウェアを使用する場合、以下のことに注意してください。

- MPEG-4プラグインソフトウェアをインストールする前に、動作環境をご確認ください(→3ページ)。
- Windows NTでMPEG-4プラグインソフトウェアは使用できません。
- MPEG-4プラグインソフトウェアをPCにインストールまたはアンインストールするには、「Administrator」(Windows 2000の場合)または「コンピューターの管理者」(Windows XPの場合)でログインしてください。

インストールのしかた

MPEG-4プラグインソフトウェアのインストール手順は以下のとおりです。

1. 中継サーバーシステムのトップページを表示する。

```
http://(中継サーバーシステムのアドレス)/s3/Japanese/  
中継サーバーシステムのアドレスはシステムによって異なります。
```

2. [MPEG-4プラグインソフトウェア]をクリックする

画面の指示に従い、インストーラー(Setup.exe)をダウンロードしてください。

ダウンロードが終了したら、Webブラウザを終了してください。

3. Setup.exeをダブルクリックして実行します。

インストーラーが起動するので、画面指示にしたがって操作してください。

アンインストールのしかた

MPEG-4プラグインソフトウェアのアンインストールは、以下の手順で操作してください。

Windows XP以外

1. [スタート]–[設定]–[コントロールパネル]の順にクリックする。
コントロールパネルが開きます。
2. [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックする。
3. 「MPEG-4 Viewer Software」を選択し、[変更/削除]をクリックする。
4. 画面の指示に従って削除する。

Windows XP

1. [スタート]–[コントロールパネル]の順にクリックする。
コントロールパネルが開きます。
2. [プログラムの追加と削除]をダブルクリックする。
3. 「MPEG-4 Viewer Software」を選択し、[変更/削除]をクリックする。
4. 画面の指示に従って削除する。

MPEG-4プレーヤーのインストール

MPEG-4の再生画像をダウンロードして再生するには、使用するPCにMPEG-4プレーヤーがインストールされている必要があります。

注: MPEG-4プレーヤーを使用する場合、以下のことに注意してください。

- MPEG-4プレーヤーをインストールする前に、動作環境をご確認ください(→3ページ)。
- MPEG-4プレーヤーをPCにインストールまたはアンインストールするには、「Administrator」(Windows2000の場合)または「コンピューターの管理者」(Windows XPの場合)でログインしてください。

インストールのしかた

MPEG-4プレーヤーのインストール手順は以下のとおりです。

1. 中継サーバーシステムのトップページを表示する。

```
http://(中継サーバーシステムのアドレス)/s3/Japanese/  
中継サーバーシステムのアドレスはシステムによって異なります。
```

2. [MPEG-4プレーヤー]をクリックする

画面の指示に従い、インストーラー(Setup.exe)をダウンロードしてください。

3. Setup.exeをダブルクリックして実行します。

インストーラーが起動するので、画面指示にしたがって操作してください。

インストールが完了すると、スタートメニューにMPEG-4プレーヤーが登録されます。

Windows XP以外: 「プログラム」 - 「WV-AS710 MPEG-4プレーヤー」 - 「WV-AS710 MPEG-4プレーヤー」

Windows XP: 「すべてのプログラム」 - 「WV-AS710 MPEG-4プレーヤー」 - 「WV-AS710 MPEG-4プレーヤー」

アンインストールのしかた

MPEG-4プレーヤーのアンインストールは、以下の手順で操作してください。

Windows XP以外

1. -[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]の順にクリックします。
コントロールパネルが開きます。
2. [アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックします。
3. 「WV-AS710 MPEG-4プレーヤー」を選択し、[変更/削除]をクリックします。
4. 画面の指示に従って削除します。

Windows XP

1. [スタート]-[コントロールパネル]の順にクリックします。
コントロールパネルが開きます。
2. [プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
3. 「WV-AS710 MPEG-4プレーヤー」を選択し、[変更/削除]をクリックします。
4. 画面の指示に従って削除します。

操作編(iモード対応携帯電話で操作する)

ここでは、iモード対応携帯電話で中継サーバーシステムにアクセスしてカメラの画像(JPEGのみ)を見る方法について説明します。ただし、iモード対応携帯電話で、MPEG-4で配信されるカメラの画像は見られません。

- ・中継サーバーシステムへのアクセスはiモードのインターネット接続で行います。
- ・操作制限されたカメラにアクセスするためには、登録されているユーザーで操作する必要があります。ユーザー名、パスワードなどはサーバー管理者にご確認願います。
- ・本書は、サーバーソフトウェア本体と同時にインストールされる標準のHTMLを使用して説明しています。お客様がHTMLファイルをカスタマイズした場合、ページの構成および動作が異なる場合があります。

iアプリをご利用になる場合の注意

オプションのiアプリを使用すると、携帯電話でライブ画像(静止画)を自動更新しながらカメラ画像を確認できます。

iアプリは、中継サーバーシステムの環境にあわせて作成する必要があります。iアプリの作成に関しましてはお求めの販売店へご相談ください。

このiアプリは、P2002ではご使用になれません。

操作編 (iモード対応携帯電話で操作する)

ライブ画像を見る

中継サーバーシステムにアクセスして画像を見る場合、以下の手順で操作します。

注: メールを受信および画像を受信すると別途/パケット料金が課金されます。

- 1 iモード携帯電話のInternetページを呼び出します。
- 2 以下のアドレスを入力し、[決定]を押します。

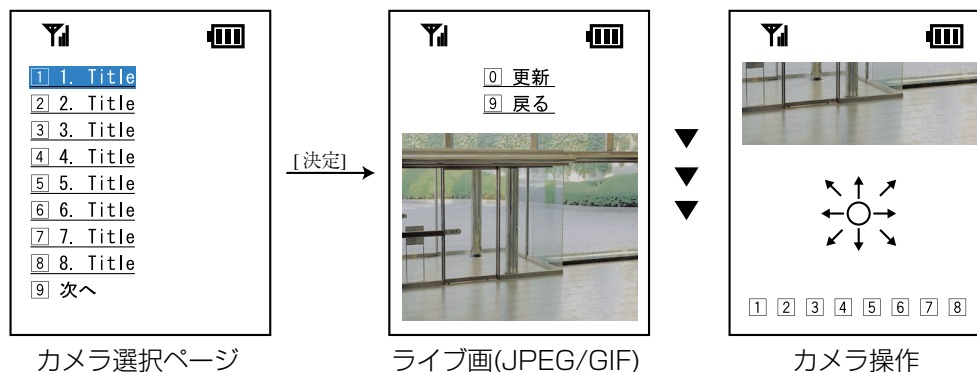
JPEG画像を表示できる携帯電話の場合

```
http://(中継サーバーシステムのアドレス)/s3/Japanese/j/  
中継サーバーシステムのアドレスはシステムによって異なります。
```

GIF画像のみ表示可できる携帯電話の場合

```
http://(中継サーバーシステムのアドレス)/s3/Japanese/i/  
中継サーバーシステムのアドレスはシステムによって異なります。
```

カメラ選択ページが表示されます。



- 3 カメラを選択し、[決定]を押します。

選択したカメラのライブ画像が表示されます。

画像を更新するときは、「更新」を選択し、[決定]を押します。

カメラを選択し直すときは「戻る」を選択し、[決定]を押します。

スクロールすると次のページが表示されます。矢印(8方向のいずれか)を選択し、[決定]を押すと矢印の方向にカメラが向きます。[1]~[8]のいずれかを選択し[決定]を押すと、押した数字に対応する位置(プリセットされている位置:プリセットポジション)にカメラが向きます。

アラームメール受信時の操作

アラームが発生すると、アラームの発生を通知するメールを自動的に送信するように設定できます(アラームメールと呼びます)。アラームメールの送信先として、iモードメールのメールアドレスを設定できます。

中継サーバーシステムが送信するメールには、アラームが入った瞬間の画像を見るためのアドレスが記載されています。メールを受信したときは、メール本文に記載されているアドレスを選択し、[決定]を押すと、自動的に中継サーバーシステムに接続し中継サーバーシステムに録画された画像を受信することができます。

注: メールを受信および画像を受信すると別途/パケット料金が課金されます。ネットワークの状況によっては、携帯電話へのメールの到着が遅れる場合があります。また、次の場合、アラーム画像は受信できません。

- アラーム画像が録画されていない(録画データ用ディスク領域の空きが不足し、録画できなかった)
- アラーム画像を表示する前に管理者が画像を消去した
- 中継サーバーシステムに、インターネットなどの外部ネットワークからのアクセスが許可されていない
- 圏外にいる

インストール編

中継サーバーシステムをインストールするには、Red Hat Linuxの知識が必要です。また、ネットワークから中継サーバーシステムにアクセスできるようにするためには、Apache HTTP Serverに関する知識が必要です。

注 ・Red Hat Linuxへの本ソフトウェアパッケージのインストール、録画データ用ディスク領域の確保(**タイプ1**)、およびアンインストールは、root権限で行う必要があります。

・本書では、IBM xSeries 330または345(22Xモデル)にインストールする場合を例に説明します。

作業概要

中継サーバーシステムのインストールは、下記手順で行います。

1. システムタイプの決定
2. ディレクトリ構成の確認
3. Red Hat Linuxのインストール
4. 録画データ用ディスク領域の確保 **タイプ1**
5. 本ソフトウェアのインストール(インストールスクリプトの実行)
6. 中継サーバーシステムの起動
7. 環境設定

運用を始める前に、管理者用ページにアクセスし、中継サーバーシステムの動作環境を設定します。詳しくは、「管理者編」をお読みください(→39ページ)。

8. 運用開始

動作環境設定後、中継サーバーシステムを再起動してください。再起動後から運用を開始できます。

システムタイプの決定

中継サーバーシステムには、下表に示す2つのタイプがあります。使用するタイプによって必要な作業が異なります。

表 システムタイプ

タイプ	概要
システムタイプ1	カメラの画像のライブ配信および録画を行うことができます(サーバー上に録画データ用ディスク領域を確保する必要があります)。録画した画像は検索して再生することができます。また、再生時に、PCのハードディスクにダウンロードすることもできます。
システムタイプ2	ライブ配信のみ行う場合のモードです。録画・再生・検索・アラーム機能は使用できません。

システムタイプについて: システムタイプは運用開始後、変更することができます。ただし、システムタイプ2からシステムタイプ1に変更する場合は、変更する前に、録画データ用ディスク領域を忘れずに確保してください。

下表の条件をすべて満たすように、システム設計を行ってください。

項目		タイプ1	タイプ2
カメラサイト	最大カメラ数	64台	128台 ^{*1}
	最大合計ビットレート	15Mbps	30Mbps
	最大合計フレームレート	200fps	200fps
ユーザーサイト(ライブ)	最大同時アクセス数	100	200
	最大合計ビットレート	30Mbps	30Mbps
	最大合計フレームレート	200fps	200fps
ユーザーサイト(再生)	最大同時アクセス数	64	—
	最大合計ビットレート	15Mbps	—
	最大合計フレームレート	200fps	—
ユーザーサイト(ライブ+再生) ^{*2}	最大同時アクセス数	100	—
	最大合計ビットレート	30Mbps	—
	最大合計フレームレート	200fps	—

※1: 128台のカメラを接続する場合、カメラ1台あたりのビットレートを230kbps以下、フレームレートを1.5fps以下になるようにカメラ側を設定してください。カメラ側の最大フレームレートは以下の値を参考にしてください。ただし、以下の値は被写体によって異なります。また、ネットワークの状況によっては最大フレームレートで画像を取得できない場合があります。

JPEG(QVGA)1ファイルのサイズの目安: 約15KB~約22KB

WJ-NT104の最大フレームレートの目安: 5fps(WJ-NT104の設定: JPEG、1Ch 固定モード、帯域制限なし、QVGA)

WV-NM100(MPEG-4)の最大フレームレートの目安: 30fps(WV-NM100の設定: ビットレート256kbps以上、QCIFの場合)

※2: ユーザーサイトで再生が64アクセスある場合、ライブは36アクセスまで可能です。

作業概要

ディレクトリ構成の確認

中継サーバーシステムが使用するディレクトリは下表のとおりです。ディレクトリはRed Hat Linuxまたは本ソフトウェアをインストールすると、自動的に作成されます(録画データ用ディスク領域は除く)。

- 注
- HTMLファイルおよびCGIが格納されるディレクトリのパスはお客様の環境に依存します。
 - ディレクトリ名は変更しないでください。
 - 各ディレクトリにインストールされているファイルを削除したり名前を変更したりしないでください。

表 ディレクトリ構成

ディレクトリ名	概要
/usr/local/s3/bin/	中継サーバーシステムの実行ファイルが格納されるディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/usr/local/s3/	中継サーバーシステムの設定ファイルが格納されるディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
HTMLPath/s3/	HTMLファイルが格納されるディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
CGIPath/s3/	管理用のCGIファイル等を格納するディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。

注:

- HTMLPathはApache HTTP ServerのHTML格納パスです。
- CGIPathはApache HTTP ServerのCGI格納パスです。

ディレクトリ名	概要
/var/run/	プロセスIDファイルを書き込むディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/var/log/s3/	アラームログ、アクセスログなどログファイルを書き込むディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/var/s3/etc/	録画データ用ディスク領域の管理情報が格納されるディレクトリ インストールスクリプトを実行すると自動的に作成されます。
/var/lib/mysql/	データベースが格納されるディレクトリ データベースサーバーが使用します。
/S3_DATAxx/ タイプ1	システムタイプ1で使用する場合に必要(xx: 2けたの10進数(例: S3_DATA00, S3_DATA01など))。本ソフトウェアが録画データ用ディスク領域として使用します。Red Hat Linuxインストール時にパーティションとして確保するか、またはインストール完了後、管理者が手動で確保する必要があります。ディスクは最大16台使用可能です。詳しくは、「録画データ用ディスク領域の確保」をお読みください(→31ページ)。

Red Hat Linuxのインストール

ここでは、Red Hat Linuxをインストールするとき、注意していただきたい項目を説明します。

録画データ用ディスク領域について タイプ1

中継サーバーシステムのシステムタイプをシステムタイプ1で使用する場合、録画データ用ディスク領域が必要です。

Red Hat Linuxインストール時に録画データ用ディスク領域を確保する場合、マウントポイント名は、必ず以下の名前にしてください。

マウントポイント名: /S3_DATAxx(xxは2けたの10進数)

詳しくは、「録画データ用ディスク領域の確保」をお読みください(→31ページ)。

Red Hat Linuxインストール後、ディレクトリを録画データ用ディスク領域として割り当てる場合、またはRed Hat Linuxインストール後にパーティションを追加する場合も同様に、上記名前で作成してください。

インストール時の注意事項

Red Hat Linuxインストール時、「パッケージグループの選択」で、すべてのパッケージをインストールすることを推奨します。カスタムインストールの中ですべてを選択するとRed Hat Linuxに含まれるすべてのパッケージをインストールできます。

なお、以下に示すパッケージは本ソフトウェアが動作するために必須ですので、必ずインストールしてください。

- GNOMEデスクトップ環境
- グラフィカルインターネット
- テキストベースのインターネット
- サーバー設定ツール
- Webサーバー

- メールサーバー
- DNSサーバー
- SQLデータベースサーバー(必ず「詳細」をクリックし、MYSQLを追加してください)
- ネットワークサーバー
- 管理ツール

インストール完了後、以下のアドレスにアクセスし、MYSQLを最新版にアップデートファイルをインストールしてください。

<http://www.redhat.co.jp/support/errata/rh80/>

録画データ用ディスク領域の確保 タイプ1

ここでは、録画データ用ディスク領域の確保のしかたと、録画データ用ディスク領域に関する注意事項を説明します。

録画データ用ディスク領域について

録画データ用ディスク領域は、本ソフトウェアをシステムタイプ1(録画あり)で使用する場合に必要です。録画データ用ディスク領域を確保することによって、以下の機能が使用可能となります。

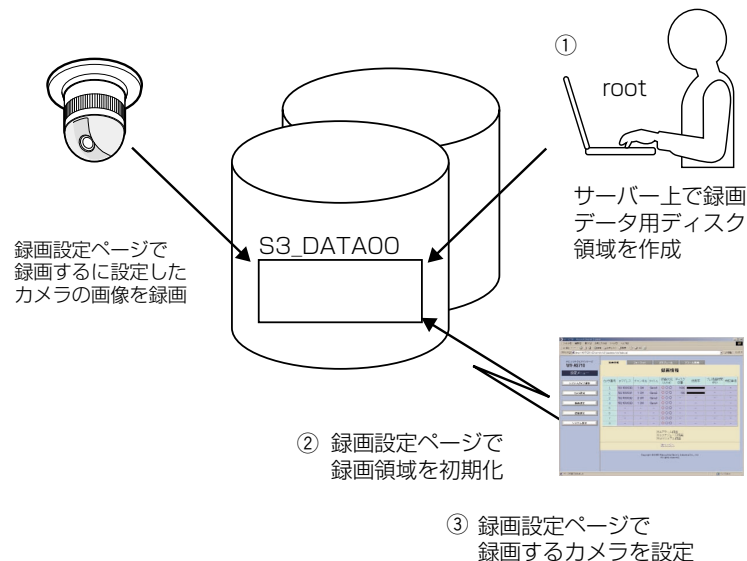
- ・スケジュール録画
- ・アラーム録画
- ・手動録画(マニュアル録画)

注: システムタイプ2(録画なし)で使用する場合、録画データ用ディスク領域を確保する必要はありません。

録画データ用ディスク領域確保時の注意

録画データ用ディスク領域を確保する場所によっては、中継サーバーシステムソフトのレスポンスが悪化することがあります。以下のことに注意してください。

- ・録画データ用ディスク領域専用のハードディスクを用意し、新規パーティションを作成して確保することをお勧めします。
- ・録画データ用ディスク領域として使用するパーティションに録画データ以外のデータを保存すると、中継サーバーシステムのレスポンスが悪化します。
- ・録画データ用ディスク領域確保後、管理者用ページでカメラごとに画像を録画する領域を設定してください。



録画データ用ディスク領域の確保

録画データ用ディスク領域の確保のしかたには、以下の2つの方法があります。

- ・パーティション全体を録画データ用ディスク領域として使用する
- ・ディレクトリを録画データ用ディスク領域として使用する

パーティションを新規に作成し、録画データ用ディスク領域を確保する場合

専用のハードディスクを用意する場合、または既存のハードディスクに新規パーティションを作成して録画データ用ディスク領域を確保する場合は、以下の名前でマウントしてください。録画データ用ディスク領域は、Red Hat Linuxインストール時に作成することもできます。

マウントポイント: /S3_DATAxx (xxは2けたの10進数)

注: パーティションを新規に作成し、録画データ用ディスク領域として使用する場合、以下のことに注意してください。

録画データ用ディスク領域の確保 タイプ1

- ・録画データ用ディスク領域専用のハードディスクを準備した場合、/S3_DATAxx以外のパーティションは作成しないでください。また、/S3_DATAxxパーティション内に、いかなるソフトウェアやデータも保存しないでください。
- ・/S3_DATAxx以外の名前で作成したパーティションは、中継サーバーシステムで認識できません。
- ・ファイルシステムは、ext2を選択してください。ext3や、その他のファイルシステムでは、中継サーバーシステムのレスポンスが悪化する場合があります。

既存のパーティションに録画データ用ディスク領域を作成する場合

既存のパーティションに、ディレクトリを作成し、作成したディレクトリを録画データ用ディスク領域として使用することができます。この場合、次の手順にしたがってディレクトリを作成し、シンボリックリンクを設定してください。

- 1 既存のパーティションに、mkdirコマンドでS3_DATAxxディレクトリを作成します。

注 S3_DATAxx以外の名前のディレクトリは中継サーバーシステムで認識できません。

- 2 /S3_DATAxxディレクトリが呼ばれたとき、手順1で作成したディレクトリに置き換えるシンボリックリンクを設定します。

例: /mnt2パーティションに、S3_DATA02ディレクトリを作成し、/S3_DATA02にシンボリックリンクを設定する場合、以下のようにコマンドを入力します。

```
#mkdir /mnt2/S3_DATA02/  
#ln -s /mnt2/S3_DATA02 /
```


本ソフトウェアのインストール

ここでは、本ソフトウェアのインストール方法を説明します。

CD-ROMのマウント

中継サーバーシステムが入っているCD-ROMをセットします。その後、以下のコマンドを入力してマウントし、ディレクトリをCD-ROMに移動します。

```
#mount /mnt/cdrom  
#cd /mnt/cdrom
```

インストール(アーカイブファイルを展開する)

CD-ROMにあるアーカイブファイルを展開し、必要なファイルをインストールします。

1 マウントしたCD-ROM内のインストールスクリプトを起動します。

```
日本語表示可能なターミナルでインストールする場合  
#./s3inst_j  
日本語表示できないターミナルでインストールする場合  
#./s3inst
```

2 環境パラメーターを入力する。

スクリプトを起動すると、中継サーバーシステムは起動に必要な環境パラメーターを問い合わせます。

- Red Hat Linuxのデフォルトパス以外にインストールする場合は、インストール先を入力後、リターンキーを押してください。
- Red Hat Linuxのデフォルトパス(□内の表示)にインストールする場合は、何も入力せずに、リターンキーを押してください。

3 管理者用(admin)のパスワードを登録する。

半角6文字以上でパスワードを入力してください。入力した文字列が管理者用ページを表示するためのパスワードとなります。パスワード入力後、リターンキーを押します。パスワードは2回入力します。

入力した内容が一致しない場合、インストールスクリプトは中断されます。中断されたときは、手順1から再実行してください。

4 サーバー起動時、中継サーバーシステムの自動起動を行うかどうか入力する。

- 自動起動を行う場合は、「y」を入力します。「y」を入力すると、自動起動するための記述が/etc/rc.d/rc.localに追加されます。
- 自動起動を行わない場合は、「n」を入力します。この場合、手動で起動する必要があります。

5 入力したパラメーターを確認する。

すべての入力完了すると、確認メッセージが表示されます。表示された情報でインストールする場合は「y」を入力します。

パラメーターを変更する場合は、「n」を入力します。「n」を入力するとインストールスクリプトは中断されます。中断したときは、手順1から再実行してください。

6 録画データ用ディスク領域を確保する。

ハードディスク上に録画データ用ディスク領域が存在しない場合、既存のパーティションに録画データ用ディスク領域の自動作成を行うかどうか、確認メッセージが表示されます。録画データ用ディスク領域を作成する場合は「y」を入力します。システムタイプ2で使用する場合は、または後で録画データ用ディスク領域を作成する場合は「n」を入力します。

CD-ROMのアンマウント

Red Hat Linuxへのインストール終了後、以下のコマンドを入力し、CD-ROMをアンマウントしてください。

```
#cd /  
#umount /mnt/cdrom
```

中継サーバーシステムの起動

ハードウェアキーの取り付け

サーバーPCに、付属のハードウェアキーが取り付けられていないと、本ソフトウェアは起動できません。

本ソフトウェアを起動する前に、サーバーPCのUSBポートに、付属のハードウェアキーを取り付けてください。ハードウェアキーは、サーバーPCに取り付けられているUSBハブに接続して使用することもできます。

管理者用ページから起動する

本ソフトウェアインストール後、最初の起動は管理者用ページで実行できます。

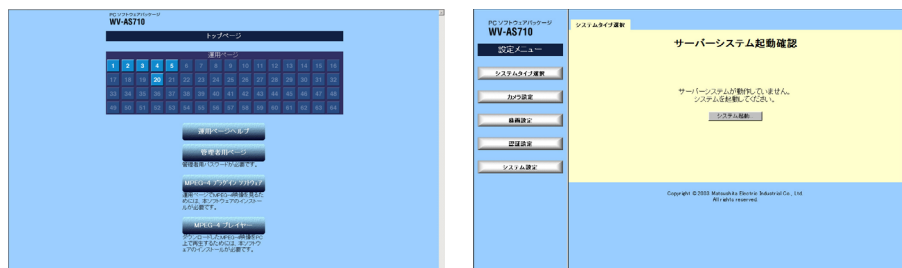
管理者用ページは、トップページから[管理者用ページ]をクリックして表示します。トップページのアドレスは以下のとおりです。

```
http://(中継サーバーシステムのアドレス)/s3/Japanese/  
中継サーバーシステムのアドレスはシステムによって異なります。
```

[管理者用ページ]をクリックすると、認証画面が表示されます。インストール直後は、管理者のユーザー名(admin)とパスワード(インストール時に登録したパスワード)を入力して認証してください。

中継サーバーシステムが停止しているとき、管理者用ページにアクセスすると、サーバーシステム起動確認ページが表示されます。

[システム起動...]をクリックして中継サーバーシステムを起動します。



Red Hat Linuxから起動する

本ソフトウェアをインストールしたディレクトリで s3 を起動します。本ソフトウェアは/usr/local/s3/bin/にインストールされています。

```
#/usr/local/s3/bin/s3
```

- 注
- ・本ソフトウェアインストール時、「Linux起動時に本システムを自動起動する」に設定し、サーバーPCを再起動した場合は、上記操作を行う必要はありません。
 - ・自動起動または管理者機能で再起動を行うと、中継サーバーはバックグラウンドで動作します。このため、ターミナルには何も表示されません。

中継サーバーシステムの初期設定概要

インストール直後、中継サーバーシステムは以下のように設定されています。

項目	設定内容
システムタイプ	システムタイプ1
カメラ	1台のみ
カメラのIPアドレス	192.168.0.10
カメラの所属グループ	なし
カメラの接続チャンネル	WJ-NT104の1ch
ディスク領域	未割り当て
動作モード	常時接続モード
ユーザー	管理者グループのユーザ「admin」のみ
パスワード	インストール時に入力したパスワード
スケジュール	なし
アラーム機能	なし

インストール後の作業概要

中継サーバーシステムを使用する場合は、インストール後以下の作業を行ってください。

メール環境の整備

中継サーバーシステムは、アラーム発生時など、中継サーバーシステムに登録されているメールアドレスにメールを送信して知らせることができます(メール機能)。

メール機能を使用する場合、サーバーにメール環境が整備されている必要があります。詳しくは、お使いになるメールサーバーのマニュアル等を参照してください。

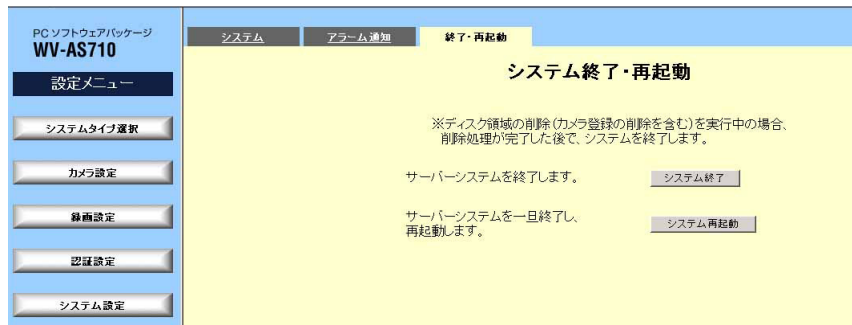
中継サーバーシステムの環境設定

「管理編」をお読みになり、必要な設定を行ってください(→39ページ)。

中継サーバーシステムソフトウェアの終了

中継サーバーシステムの終了は、管理者用ページの「システム終了・再起動」で行います(→77ページ)。

「システム終了・再起動」ページで[システム終了]をクリックすると終了します。



アンインストール

本ソフトウェアパッケージが不要になった場合は、アンインストール用のスクリプトを実行してください。

アンインストールスクリプトを実行すると、インストール時に作成した全ディレクトリが削除されます。

ただし、インストール後に、録画データ用ディスク領域(S3_DATAxx)として割り当てたパーティションまたはディレクトリは削除されません(内容は削除されます)。rmdirまたはrmコマンドで削除してください。

注 本ソフトウェアパッケージのアンインストールは、root権限で行う必要があります。

アンインストールスクリプトは、中継サーバーシステムインストール時、以下のディレクトリにインストールされています。

インストール先ディレクトリ: /usr/local/s3/bin/uninstall/

インストールスクリプトと同様に、日本語表示版と英語表示版があります。お客様の環境に応じて実行してください。

日本語表示可能なターミナルでアンインストールする場合

```
# cd /usr/local/s3/bin/uninstall/  
# ./s3uninst_j
```

日本語表示できないターミナルでアンインストールする場合

```
# cd /usr/local/s3/bin/uninstall/  
# ./s3uninst
```